

石巻港 雲雀野地区 廃棄物埋立護岸整備事業の概要

- 宮城県では、県内の被災地を4ブロックに分け、震災ガレキの処理を進めている。
- 石巻ブロック（石巻市、東松島市、女川町）には、宮城県の震災ガレキの約5割（826万トン）が集中。
- 石巻港は震災ガレキの一次仮置き場として機能しているほか、同港雲雀野地区には二次仮置き場が設置され、ブロック内の一次仮置き場から震災ガレキが搬入され、選別等が行われている。
- 宮城県は同地区に海面処分場（廃棄物埋立護岸）を整備中で、国土交通省は本整備事業に対する補助を実施（平成23年度第3次補正予算 15億円（事業費））。
- 震災ガレキの埋立処分は平成24年度から平成25年度にかけて実施予定。

平成24年2月2日撮影



一次仮置き場

二次仮置き場

海面処分場

廃棄物埋立護岸(整備箇所)

廃棄物埋立護岸(既設)

約100万 m^3

約100万 m^3

雲雀野地区